



# 今井小だより

横浜市立今井小学校  
令和 6年4月8日  
学校だより 4月号

学校教育目標 : か が や い て い る 子 「自分大好き!今井大好き!」

## RESTART

学校長 松永 史郎

温暖化の影響でしょうか、ここ数年は桜の開花が早まり、花吹雪どころか葉桜の下で新年度のスタートを迎えておりましたが、今年は3月末の寒さで開花が遅れたため、久しぶりに美しい桜の下で始業式と入学式を迎えることができました。

今井小学校の新しい仲間となる1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また、新たな学年としてのスタートを迎えた2年生から6年生のみなさん、ご進級おめでとうございます。



昨年度はコロナ禍で途絶えてしまっていたことやできなかったことを、まずは可能な形で取り戻していく1年間でした。

それを踏まえての令和6年度。今年度は表題に掲げましたRESTART(再出発)を意識しながら教育活動をさらに充実させていく1年間だと思っております。

様々な教育活動を制限なしで行える喜びを感じながら、今井小学校の子どもたちのために何を大切にしていくか、どんなことができるかということを見つめ直して取り組んで参ります。

今井小学校は、今年度の1年生が30名、学校全体でも1年から6年生の一般学級9、個別支援学級2、合計11学級、全校児童数228名の小規模校です。さらに、児童数の減少は今後もしばらく続いていく見込みです。

実は私の前任校は、市内で最も児童数が多く、全校で1500名以上というマンモス校でした。スケール・メリットという言葉がありますが、例えば、運動会一つを見ても、学年で300名近くの演技は壮観で見るものを圧倒します。

では、2年前に人数の少ない今井小学校に着任して、運動会の演技にがっかりしたかということ、そんなことはありませんでした。むしろ一人ひとりの表情や力の入り具合がより近くで感じられ、大規模校とは違った面で感動することができました。

小規模化に対応できる学校づくりというのが、ここ数年の学校としての喫緊の課題ですが、小規模の学校にはそのメリットを生かした教育活動、学校行事等があります。今年も、教職員一同で知恵を借りながら、保護者の皆様や地域の皆様のお力をお借りしたり、子どもたちのアイデアも生かしたりしながら、持続可能な形で教育活動の改善を進めていきたいと考えております。特に、今年は校外や地域に積極的に出かけて学校内ではなかなかできない体験を積むこと、また異校種との交流を深化させて相互にWIN-WINの関係を構築していくこと等を改善の柱にしていきます。

今井小学校は、本日からRESTART(再出発)の一步を踏み出します。令和6年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。